

(申請書情報)平成 32 年度 (2020 年度) 採用分 特別研究員—DC 申請書

第 版

審査区分	① 申請資格	DC	受付番号	
	② 書面合議・面接審査区分			
	③ 書面審査区分			
	④ 小区分名			
	⑤ 小区分コード		⑥ 専門分野	※漢字等により 7 字以内

⑦ 研究課題名 ※化学式、数式による表記は避け、40 字以内の和文とする

東京大学

1. 申請者情報等

(申請機関コード: 12601)

⑧ 氏名	(フリガナ) 登録名	※旧姓、通称名等を使用可 JIS 第 1 水準及び第 2 水準以外の文字コードや特殊フォントは使用することができません。	⑨ 性別
	(フリガナ) 戸籍名		
	ローマ字表記	※姓は全て大文字、名及びミドルネームは最初の一文字のみ大文字、以降は小文字とする	
⑩ 国籍			
⑪ 生年月日	元号 (西暦) 年 月 日 生 (平成 32 (西暦 2020) 年 4 月 1 日現在 歳)		

⑫ 学歴 (学部・修士)	1. 年 月 大学 学部 学科卒	
	2. 年 月 大学大学院修士課程入学 (研究科 専攻)	
<p>※学部・修士課程に係る学歴のみを記載する</p> <p>※専攻名等について、正式な名称を記載する。1 行 40 文字以内とし、不要な文字は消去する</p> <p>※現在修士課程在学中の場合は、修了年月日は入力しない</p>		
⑬ 博士の状況	1. 入学年月: 平成 (西暦) 年 月 編・転・再入学	
	2. 編・転・再入学時の在学期間換算: 年 ヶ月	
	3. 大学院名: 東京大学(12601)	
	4. 研究科名: 医学(系)(0076)	
	5. 研究科種別: 研究科	
	6. 専攻名: ○○専攻 ※専攻名のみを正確に記載すること 例: 分子細胞生物学専攻	
	7. 課程種別: 博士課程(医・歯・薬・獣医学系4年制)あるいは博士課程(3年制)	
	8. 休学期間合計: 年 ヶ月	
	9. 平成 32 (西暦 2020) 年 4 月 1 日時点における博士在学期間累計: 年 ヶ月	
⑭ 研究・職歴等	1. 年 月 ~ 年 月	
	2. ※学振特別研究員と同様のフェローシップの採用歴や研究生歴、非研究職歴も含む ※記入することがない場合は、初期設定のままで構わない	
⑫学歴、⑬博士の状況、⑭研究・職歴等別紙: 有		
⑮ 日本学生支援機構等奨学金貸与の有無	⑯ 外国人留学生に対する奨学金等受給の有無	※日本国籍の場合は入力しないこと

申請者登録名

⑰博士の特記事項の有無	(博士の特記事項)			
⑱現在の研究指導者 ※学籍上の指導教員 ただし、DC1申請者については作成要領をよく確認すること	(フリガナ)氏名	※正確に記載すること	職名	※職名のみ記載すること
		研究者番号	※不明な場合は必ず研究者に確認すること	
	所属機関	東京大学(12601)		
	部局	医学(系)(0076)	部局種別	研究科
	連絡先	※正確に記載すること		
⑲採用後の受入研究者 ※DC2及び医学博士課程でDC1へ申請の場合は学籍上の指導教員(⑱と同様)	(フリガナ)氏名	※正確に記載すること	職名	※職名のみ記載すること
		研究者番号	※不明な場合は必ず研究者に確認すること	
	所属機関	東京大学(12601)		
	部局	医学(系)(0076)	部局種別	研究科
⑳採用後の申請者所属研究科正式名	<u>大学院医学系研究科</u> <u>※必ず上記の通り記載すること。専攻名、診療科名、教室名等は一切記載しない</u>			

※申請書情報は、研究課題名を含め必ず全て日本語で作成すること。

(申請内容ファイルは、日本語または英語で作成可)

※⑱、⑲：研究指導の委託を行っている場合も、必ず学籍上の指導教員(UTASで確認可能)とすること
 その他の研究科や附置研究所等が指導教員の本務先の場合も、部局コード等を確認のうえ入力する

(医学部附属病院所属の教員の本務先は、医学系研究科)

なお、正式な指導教員が連携機関(国立がん研究センター等)の連携教授等の場合は、例外があるので、該当する方は個別に大学院係へ確認すること

※研究者番号は必ずご自身で研究者へ確認のうえ、正確に入力してください。

未記入あるいは未確認のまま「99999999」と入力した場合は受理しません。

特別研究員-DC申請者⑫学歴、⑬博士の状況、⑭研究・職歴等別紙

申請書1ページ「⑫学歴、⑬博士の状況、⑭研究・職歴等」欄にて、必要事項を記載できなかった場合は、本ページの枠内に全て記載してください。記載する際には、既に入力済の部分も含め全て記載してください。

※時系列順、西暦で記載すること

※申請書1ページに収まった場合は本紙は不要

(このページには何も記載せず、空白のまま提出してください。)

2. 【現在までの研究状況】(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。様式の変更・追加は不可(以下同様))

- ① これまでの研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述してください。
- ② 申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について、問題点を含め①に記載したことと関連づけて説明してください。
なお、これまでの研究結果を論文あるいは学会等で発表している場合には、申請者が担当した部分を明らかにして、それらの内容を記述してください。

※10ポイント以上の文字で記入すること

※モノクロ(グレースケール)印刷の状態審査されるため、画像データ等を使用する際は、あらかじめモノクロで作成したものを使用することを推奨する

※また、PDF変換される過程で、文字化けや図表のずれが生じることがあるので、申請者自身で、草稿段階から、PDF変換して仕上がりを確認し、順次、早めにアップロードしておくようにすること。登録後、必ずダウンロードして内容を確認すること

(現在までの研究状況の続き)

※枠自体の変更は行わないこと

3. 【これからの研究計画】

(1) 研究の背景

2. で述べた研究状況を踏まえ、これからの研究計画の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等について参考文献を挙げて記入してください。

※枠自体の変更は行わないこと

申請者登録名 ※記入すること

(2) 研究目的・内容 (図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。)

- ① 研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。
- ③ 所属研究室の研究との関連において、申請者が担当する部分を明らかにしてください。
- ④ 研究計画の期間中に異なった研究機関 (外国の研究機関等を含む。) において研究に従事することを予定している場合はその旨を記載してください。

※枠自体の改変は行わないこと

申請者登録名 ※記入すること

(3) 研究の特色・独創的な点

次の項目について記載してください。

- ① これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点
- ② 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義
- ③ 本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し

※枠自体の改変は行わないこと

(4) 年次計画

申請時点から採用までの準備状況を踏まえ、DC1 申請者は1～3年目、DC2 申請者は1～2年目について、年次毎に記載してください。
元の枠に収まっていれば、年次毎の配分は変更して構いません。

(申請時点から採用までの準備)

(1年目)

(2年目)

(3年目) (DC2 申請者は記入しないでください。)

申請者登録名 ※記入すること

(年次計画の続き)

※枠自体の変更は行わないこと (記入しない場合も削除しない)

(5) 人権の保護及び法令等の遵守への対応

本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。例えば、**個人情報**を伴うアンケート調査・インタビュー調査、**国内外の文化遺産の調査等**、**提供を受けた試料の使用**、**侵襲性を伴う研究**、**ヒト遺伝子解析研究**、**遺伝子組換え実験**、**動物実験**など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続きの状況も具体的に記述してください。

なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

4. 【研究成果】(下記の項目について申請者が中心的な役割を果たしたもののみ項目に区分して記載してください。その際、**通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記載してください。申請者にアンダーラインを付してください。**論文数・学会発表等の回数が多くて記載しきれない場合には、主要なものを抜粋し、各項目の最後に「他〇報」等と記載してください。〔査読中・投稿中のものは除く〕

(1) 学術雑誌等(紀要・論文集等も含む)に発表した論文、著書(査読の有無を区分して記載してください。査読のある場合、印刷済及び採録決定済のものに限ります。)

著者(申請者を含む全員の氏名(最大20名程度)を、論文と同一の順番で記載してください。)、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁-最終頁、発行年をこの順で記入してください。

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

(3) 国際会議における発表(口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載してください。)

著者(申請者を含む全員の氏名(最大20名程度)を、論文等と同一の順番で記載してください。)、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。発表者に〇印を付してください。(発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載しても構いません。)

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表

(3)と同様に記載してください。

(5) 特許等(申請中、公開中、取得を明記してください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述で構いません。)

(6) その他(受賞歴等)

※記載例

(1) 学術雑誌等(紀要・論文集等も含む)に発表した論文、著書
(査読有り)

- 1) 学振太郎、半蔵門花子、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp57-62、2006
- 2) 麴町次郎、学振太郎、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp33-39、2012
- 3) 半蔵門花子、麴町次郎、学振太郎 (6番目)、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、千代田三郎 (〇名省略)、「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp10-25、2014

他 5 報

記載しきれない場合は、項目別に省略した数を記載してください。

最大20名程度。省略する場合は、
①first author, second author, last author、申請者本人、申請書2ページ目に記載の各研究者は省略不可。
②申請者本人氏名には、下線を引くとともに、後ろに何番目の著者にあたるかを記載。
③その他の著者について指定はありません。
④論文と同一の順番で記載。

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

- 1) 学振太郎・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp57-62、2009

(3) 国際会議における発表

(口頭発表 査読有り)

- 1) 〇Gakushin T, Hanzoumon H,・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、Los Angeles, USA、(June 2008)

他 2 件

パンフレット等に掲載された際に付された番号があれば記載してください。

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表

(口頭発表 査読無し)

- 1) 〇学振太郎、半蔵門花子、・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、No.200、仙台、2007年9月

(5) 特許

(公開中)

- 1) (特許の番号)号、「(名称)」、麴町治郎、学振太郎、2007年4月

(6) その他(受賞歴等)

- 1) 学振太郎・・・「(賞の名称)」、2007年4月

【発表(印刷)前】

(1) 学術雑誌等(紀要・論文集等も含む)に採録決定されたもの

(査読有り)

- 1) 麴町治郎¹、学振太郎²、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp33-39、2017

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表の申し込みが受理されたもの

- 1) 〇学振太郎、半蔵門花子、・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、No.201、東京、2017年7月

申請者登録名 ※記入すること

5. 【研究者を志望する動機、目指す研究者像、自己の長所等】

日本学術振興会特別研究員制度は、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的としています。この目的に鑑み、申請者本人の研究者としての資質、研究計画遂行能力を評価するために以下の事項をそれぞれ記入してください。

- ① 研究者を志望する動機、目指す研究者像、自己の長所等
- ② その他、研究者としての資質、研究計画遂行能力を審査員が評価する上で、特に重要と思われる事項（特に優れた学業成績、受賞歴、飛び級入学、留学経験、特色ある学外活動など）